

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		町会・自治会活動支援及び協力委託			款	3	項	1	目	1	事業	7	整理番号	57					
担当部課名		区民生活部地域課			係名	地域係			連絡先電話番号	3763	昨年度整理番号	56							
上位施策No・施策名		67	地域活動の推進			予算事業区分			既定事業										
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	63	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 杉並区町会・自治会専用掲示板設置等補助金交付要綱 (2) 杉並区町会・自治会館建設等補助金交付要綱												
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○町会・自治会活動を支援することにより、良好な地域社会形成を実現します。 ○自治会館や掲示板の設置費用を補助することにより、活動拠点の確保や情報交換・発信の手段が得られます。 ○加入促進活動を支援することで、加入する区民が増え町会・自治会活動が活性化します。			活動指標名(式)		(1) 町会・自治会掲示板設置等助成数 (2) 委託契約を結んだ町会・自治会数												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○町会・自治会への区政協力委託(区屋外掲示板へのポスター掲出、公共施設の損壊通報等) ○町会・自治会が地域活性化のために行う事業助成金の交付(まちの絆向上事業助成) ○町会や行政の情報共有を拡大するための町会・自治会専用掲示板設置等助成 ○町会・自治会活動の拠点整備を支援するための町会・自治会館の建設助成			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 町会・自治会加入率(代) 算定式・指標の説明等 町会・自治会加入世帯÷区内世帯数 (毎年1月1日現在) 成果指標名(2) 町会・自治会掲示板助成による寄与率 算定式・指標の説明等 掲示板助成件数÷掲示板総数×100												
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%							
			実績		計画		実績		計画		実績								
指標	活動指標(1)	①	基	83	50	70	50	55	50	50	50.0	110.0							
	活動指標(2)	②	町会	160	161	160	161	160	160	161.0	99.4								
	成果指標(1)	③	%	53.0	57.0	52.4	55.0	51.9	54.0	60.0	94.4								
	成果指標(2)	④	%	38.0	45.0	42.4	45.0	46.6	47.0	50.0	103.6								
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	45,040	54,599	52,171	76,141	73,073	50,711	21年度予算執行率%		96.0							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ・平成20年度から、町会・自治会が「より良い地域社会実現」を目的として行う新規事業(又は従来よりレベルアップさせた事業)に対し、地域活性化事業助成金の交付を開始し、平成22年度で3年目を迎えます。(実施団体数:平成20年度は10件、平成21年度は13件) ・平成21年度は、町会・自治会会館1棟の建設費に補助金24,000千円を交付しました。									
	(内)委託費	⑦	千円	40,431	41,625	40,778	42,667	40,945	42,437										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	8.02	8.51	10.02	10.02	9.46	10.00										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	73,303	77,016	90,681	88,968	83,995					88,790					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0										
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	118,343	131,615	142,852	165,109	157,068	139,501										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	1,425,819	2,632,300	2,040,743	3,302,180	2,855,782	2,790,020										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0					
		都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0					0					
		その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0					0					
		特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯	⑰	千円	0	0	0	0	0					0					
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	118,343	131,615	142,852	165,109	157,068	139,501										
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 57

		内 容	規模	単位	事業費(千円)	
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	区政協力委託 (執)	160	町	40,934	
		地域活性化事業助成金	13	町	2,026	
		町会・自治会専用掲示板設置等助成	55	基	1,185	
		町会・自治会会館の建設等助成	1	棟	24,000	
		その他 (町会加入促進、町会連合会連絡調整)			4,928	
(2)事業実績	町会・自治会が「より良い地域社会実現」を目的として行う新規事業又は従来よりレベルアップさせた事業を支援するため、13町会に対し総額2,026千円の地域活性化事業助成金を交付しました。また、町会・自治会加入者の増加を図るため、加入促進を呼びかけるパンフレット及び町会区域図を増刷し、転入した方に配布するとともに、啓発グッズとしてクリアファイルを作成・配布しました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	町会加入率は長期漸減傾向にあります。また、町会役員の高齢化や固定化、後継者難が顕著化しています。				
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	○区政協力委託に基づくポスター掲示やチラシの閲覧などの依頼件数が増加傾向にあり、「算定額の見直しにより委託金の増額等を考えてほしい」との意見が寄せられています。また、委託内容について、負担感を訴える声もあります。 ○地域活性化事業助成については、今後も継続してほしいとの声が寄せられています。				
	今後の予測	町会・自治会活動の主要な担い手である役員の後継者難が一層深刻化していくことが見込まれます。一方、いわゆる「団塊の世代」が今すぐ地域デビューすることは、現在の社会経済情勢からは少ないとも予想されますが、東京都の調査では「地域で何らかの活動に参加したい」と答えている都民が7割を占めていることから、参加機会の増加や働きかけが強まれば機運が盛り上がることも考えられるため、いかに円滑に町会・自治会活動に呼び込むように働きかけていくかが課題となります。				
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 地域課題の解決に取り組む町会・自治会活動を支援することで、活動が活発化します。地域住民の交流が深まり、良好なコミュニティ形成に役立っています。				
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	若年層をはじめ多様な世代の参画を促す事業に対して重点的な支援を行ない、町会・自治会活動の担い手を増やしていきます。また、他の様々な地域団体と、相互連携・補完し合いながら地域課題の解決に取り組み、住み良い地域づくりを進めていきます。				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	事業実施や掲示板設置に関しては、町会・自治会の財政力に比べて負担が大きいため、現在の助成額は妥当であると考えます。また、区政協力委託については、受益者負担を伴う性質の事業ではありません。				
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	区政協力委託契約は平成12年度から始まった委託契約で、委託業務については各町会に浸透しています。また、区からの協力依頼が増加傾向にあることから、委託事項や経費の削減は難しい状況にあります。				
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)				
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進				
評価と課題	地域活性化事業助成金を活用した事業は前年度の10件から13件に増加しており、町会・自治会の活性化と地域コミュニティの醸成に寄与しています。集合住宅などを対象にしたより積極的な加入促進策の展開や新規団体の立ち上げ支援を行っていくことで、長期的に漸減傾向にある町会・自治会の加入率の向上を図ることが今後の課題です。					

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○増	●現状維持	○減	コスト:	○増	●現状維持	○減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	○地域活性化事業助成は、申請受付期間に職員を通じて各町会・自治会に制度活用の働きかけを行うとともに、申請のあった案件について審査会を開催し、より効果的な事業であるか精査を行いました。2年目を迎えた事業についても助成を行っています。また、より使いやすい制度とするため、支出方法に一部前金払いを加えました。 ○地域区民センター協議会(旧地域集会所等運営協議会)と連携し、他の地域団体との協働やネットワーク作りを行えるよう働きかけるため、地区町会連合会の事務局機能を担っている区地域課地域活動係と協議会事務局を平成22年4月に統合し、事務局の支援機能を強化しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするか) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	○地域活性化事業助成は、これまでの取り組みを事例集にまとめ、事業の周知や見直しに活用します。各町会・自治会へ助成制度活用を働きかける際、「どんなことに困っているか」等を聞き取ることで町会・自治会の実情を把握し、助成制度活用に関連しない内容であれば、他団体との協働を働きかける等していきます。 ○町会・自治会活動を活性化するため、既存町会への加入促進や新規立ち上げ支援を行っていきます。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	役員の後継者難により、活動が停滞している町会・自治会に対し、いかに地域活性化事業実施や他団体との協働を働きかけるかが課題です。区が各町会・自治会の実情を十分に把握し、円滑な働きかけを行えるよう支援活動を強化していくことで克服していく必要があります。								
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○大幅増	○増	●増減なし	○減	○大幅減	○予算なし		
	(2)理由	地域活性化事業助成は、町会・自治会活動の新規・レベルアップ事業立ち上げの動機付けになり、また、町会・自治会の実情を把握するうえでも貴重な機会であるため、継続実施が望ましいです。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	地域住民活動推進	款	3	項	1	目	1	事業	8	整理番号	58	
担当部課名	区民生活部地域課	係名	地域係					連絡先電話番号	3767	昨年度整理番号	57	
上位施策No・施策名	67 地域活動の推進	予算事業区分							既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	14	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 <small>○地域区民センター協議会(旧地域集会施設等運営協議会) ○掲示板利用者、地域住民 ○被災した世帯、事業者、財産所有者等</small>					根拠法令等	(1) 杉並区地域区民センター協議会事業に対する補助金交付要綱 (2) 杉並区掲示板に掲示する掲示物取扱要領				
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○地域区民センター協議会事業の支援を通して、ふれあいと交流の創出や地域団体のネットワーク化を推進し、良好なコミュニティを形成します。 ○地域活動の仲間づくりやイベント情報発信のため屋外掲示板を設置し、地域活動の活性化や地域住民の交流を図ります。 ○災害発生後、迅速な災害被害認定調査を行い、被災証明書を交付することで、被災地の復興支援を行います。					活動指標名(式)	(1) 協議会が開催する集団事業及び学級講座の参加者数 (2) 屋外掲示板設置基数				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○屋外掲示板のPFI(民間資金を活用した社会資本整備)手法による建替えや維持管理 ○地域区民センター協議会事業の支援 ○被災建物等の被害認定調査実施と被災者情報の管理及び被災証明書の交付					成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)事業1回あたりの参加者数 算定式・指標の説明等 事業参加者総数÷事業実施回数 成果指標名(2) (代)区掲示板へのポスター掲出枚数 算定式・指標の説明等				
区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
指標	活動指標(1)	①	人	45,585	46,000	43,819	46,000	40,283	44,000	91.6	87.6	
	活動指標(2)	②	基	432	530	432	460	429	460	93.3	93.3	
	成果指標(1)	③	人	82.0	82.0	79.0	82.0	89.3	95	94.0	108.9	
	成果指標(2)	④	枚	38,725	43,370	31,704	35,000	35,593	36,000.0	98.9	101.7	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	157,596	169,142	158,450	163,987	150,928	105,779	21年度予算執行率% 92.0		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ・平成22年度から、区民生活部副参事(再任用・嘱託員)及び地域活動係嘱託員を職員数に参入しました。		
	(内)委託費	⑦	千円	30,771	34,986	32,176	34,271	30,499	33,551			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	5.10 0.00	5.40 0.00	4.26 0.00	4.26 0.00	4.02 0.00	4.00 21.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	46,614	48,870	38,553	37,825	35,694			35,516
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			58,653
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	204,210	218,012	197,003	201,812	186,622	199,948			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	4,480	4,739	4,496	4,387	4,633	4,544			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	1,935	2,000	2,483	2,500	2,750			2,750
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	1,935	2,000	2,483	2,500	2,750	2,750			
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	202,275	216,012	194,520	199,312	183,872	197,198			
受益者負担比率⑱÷⑬		%	0.9	0.9	1.3	1.2	1.5	1.4				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 58

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単位	事業費(千円)	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	区掲示板の維持管理 (執)				2,696
	地域区民センター協議会(旧地域集会施設等運営協議会) 補助金 (細)				115,616
	被災者情報管理システムの維持管理 (細)				1,242
	その他 (地域活動事務、地域区民センター図書室運営委託など)				31,374
	(2)事業実績	○地域区民センター協議会事業では、地域団体のネットワーク化を目標に平成21年度から協働事業を開始しました。また、協議会活動を強力に支援するため、平成22年4月に協議会事務局と地域課地域活動係を統合するための準備(組織改正案の作成、事務室移転等)を行いました。 ○屋外掲示板は必要に応じて修繕等を実施しました。			
事業開始当初から現在までの変化	○地域区民センター協議会の創立当時(最初の協議会が誕生したのは昭和53年)、区は既に人口急増期を迎えており、地域社会は急速に多様化し、人間関係の希薄化や地域共同体の崩壊が指摘されていました。公共サービスへのニーズも多様化し、行政だけでは解決できない課題に対し、「地域の課題は住民自らが考え、解決する自治型コミュニティづくり」が提唱され、全国でコミュニティ行政が始まりました。協議会は住民相互の交流を活発化させる「ふれあいと交流」を目的とした事業展開を続けてきましたが、もうひとつの目的である自治型コミュニティ形成の中心的役割を担うことが期待されています。 ○老朽化が進む区掲示板を全基建替えるため、平成17年10月にPFI手法による建替え事業が始まりましたが、約4割の建替えが終わったものの事業者側の資金難により事業そのものが停滞しています。				
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域区民センター協議会については「どんな団体か分からない」という声が寄せられており、地域の他団体から協働の相手方として十分認識がされていないことが伺われます。また、住民からは「自宅から自分の地域内のセンターまでは遠く、通にくい」という声があります。				
今後の予測	インターネットや携帯電話等の通信手段が飛躍的に発達し、地理的な制約なく関心のある特定のテーマに絞って情報交換等を行うテーマ型コミュニティが出現しています。今後、地理的に区画された従来のエリア型コミュニティとテーマ型コミュニティが必要に応じて補完し合うことで、個人・団体が協働しながらネットワークを形成し、複合的に効果をあげる「多元参加型コミュニティ」に発展していく可能性が指摘されています。				
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由→)	地域区民センター協議会が開催する講座・教室は、地域内で同じ興味を持つ人同士とのふれあいと交流を目的としており、ニーズ・集客力ともに高いといえますが、内容によっては民間カルチャーセンターの代替になってしまうこともあります。			
	(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができる できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	地域区民センター協議会事業を「ふれあいと交流」だけでなく、「地域課題の解決」を目指し、地域団体のネットワーク化を推進できるよう、他団体との協働事業を拡充します。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	地域区民センター協議会事業の参加者にとって、受益度の高い講座・教室にとっては、材料費や施設使用料等、施設の維持管理や事業の継続性を確保するために相応の金額を参加費とする等の工夫が考えられます。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)	地域区民センター協議会事業の参加費の充当等により、一定程度、事業費を節減できます。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	掲示板の建て替え事業については、PFI手法による整備が限界にきていることから、事業スキームの見直しを検討する必要があります。また、平成22年4月から、区民センター協議会事務局と区地域課地域活動係を組織統合し、町会・自治会とセンター協議会の事務局体制を強化しましたので、今後はそのスケールメリットを十分に活かして実効性のある支援を行っていくことが課題となります。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成21年度から地域区民センター協議会事業に対する補助金に、他の地域団体とのネットワーク化を推進するため協働事業予算枠を新設しました。各協議会では町会・自治会やNPO等との協働事業に取り組み始めています。また、平成20年の「地域集会施設等運営協議会のあり方検討委員会報告書」の提言に沿って、スケールメリットを活かし強力に協議会活動をバックアップできるよう、協議会事務局と区地域課地域活動係を平成22年4月に組織統合しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	地域区民センター協議会が行う協働事業に、より多くの団体が参加し、ネットワーク化を図れるよう、協働事業のあり方を区と協議会が平成22年6月までにまとめ、その後実践していきます。平成23年2月には評価会議を開催し、次年度の取組みにつなげます。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	地域区民センター協議会の協働事業について、主旨や内容をより多くの地域団体に周知していくことが課題です。また、地域にどのような課題があるのかを、把握する必要があります。平成22年度から協議会の事務局業務を区が担うことになるため、区の持つ情報等を活用し、協議会を強力にバックアップしていきます。								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	地域区民センター協議会事業に対する補助金のうち、「ふれあいと交流」を目的とした事業分を徐々に「地域団体のネットワーク化推進」を目的とした事業分へとシフトすることで、効果的な事業執行を図ります。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公共施設予約システム維持管理		款	3	項	1	目	1	事業	12	整理番号	62
担当部課名		区民生活部地域課		係名	地域施設係		連絡先電話番号		765		昨年度整理番号	61	
上位施策No・施策名		67 地域活動の推進		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	15	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		施設の利用者及び利用団体		根拠法令等		(1) 杉並区公共施設予約システムの利用に関する要綱 (2)					
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○簡単、便利に施設利用申込を行えるシステム運用を行う。 ○抽選申込等の機能により、利用者に公平な施設利用機会を提供する。		活動指標名(式)		(1) システムアクセス数 (2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○集会施設の利用者が施設の予約を公平・円滑・安全に行えるためのシステム運用業務 ○インターネット、電話、携帯サイトから公共施設の抽選申込み、予約を受け付ける公共施設の予約受付業務		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
			実績		計画		実績		計画		実績		
指標	活動指標(1)	①	回	604,418	689,355	604,389	604,403	700,632	700,000	100.1	115.9		
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③											
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	58,932	56,890	52,884	107,365	104,090	65,787	21年度予算執行率% 96.9			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成22年1月にシステム構成を変更したことにより、活動指標であるシステムアクセス数(インターネットアクセス数)の計測のポイント、方法を変更した。			
	(内)委託費	⑦	千円	27,853	39,915	38,268	87,397	84,797	45,008				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	5.00 1.00	5.00 2.00	5.76 2.00	5.13 2.00	5.45 2.00	5.00 2.00				
	人件費(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	45,700	45,250	52,128	45,549	48,391	44,395				
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	2,770	5,600	5,600	5,586	5,586	5,586				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	107,402	107,740	110,612	158,500	158,067	115,768				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	178	156	183	262	226	165				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0	
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	107,402	107,740	110,612	158,500	158,067	115,768					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 62

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	公共施設予約システム設計・設定及びデータ移行等業務委託				28,974
	公共施設予約システム運用業務委託				21,243
	公共施設予約システム利用者端末(タッチパネル)設定等作業委託				14,884
	公共施設予約システム機能追加等改修作業委託				12,432
	その他 ()				26,557
(2)事業実績	平成22年4月に機器保守期限をむかえるサーバ等の機器について1月に交換を行いました。その際、システムの構成等を見直し、これまで課題となっていた特定日のシステム応答の遅延を解消しました。また、平成20年度に実施した利用者アンケートの中で対応可能なものについて設計を行い、平成22年度夏のサービス提供のためのシステム構築作業を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年(11月利用分)から集会施設、平成17年(6月利用分)からはスポーツ施設についてさざんかねっとシステムによる予約受付を開始しました。平成22年1月にサーバ等の機器を交換しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	現在、施設の室場の空き枠の確認と空いている施設の予約は別メニューとなっていますが、空き枠がある場合、別メニューに入らず空き枠の確認からの申込み行える機能の追加やインターネットから利用者が備品を直接申し込むことができる機能の追加等について要望があります。
	今後の予測	

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	施設申込みの利便性について時間的・空間的な制約を減らし、多様な利用者層の施設利用機会を担保することで、地域の文化・コミュニティ活動等が活発になる環境を提供を実現しています。
	(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	公平な施設利用の機会を保障し、利用者の満足度を高めるために、必要となるコストと比較しながら制度や機能の改善・見直しを行っていきます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	受益者である利用者の直接負担を想定する内容が本事業経費では、存在しないため見直しの余地はありません。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	サーバ機器等が長期継続契約となることから、平成27年1月までは原則、現行の賃借、運用保守体制を維持する必要があります。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	平成22年1月に実施した機器交換作業により、利用者アクセス時のサービスの安定性が向上しました。ただし、現システムでは対応が難しい備品貸し出しのシステム化や施設利用に関する貸し出し時間枠の短時間化、抽選申込み時期の前倒しなどの要望について検討を行って行きます。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減 コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 平成22年1月の機器交換作業により、特定日のシステムの応答遅延は解消しました。また、財政上の理由から、システムが稼動するソフトウェアは平成15年からのものを引き続き利用することになりましたが、お知らせ機能、申込み機能等において利用者の利便性を向上させるための機能を設計し、作成しました。なお、平成21年度は機器入替に伴う一次経費を計上していましたが、単年度で終了したため、その分の経費が平成22年は減少しています。
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 利用者から要望のある貸し出し時間枠の見直し、登録団体の半額利用の再検討、キャンセル期間の変更等、集会施設の貸し出し期間の変更といった集会施設の利用の仕組みに関する要望についてはシステムの大規模な改修が必要となります。また、利用者からの備品の予約も現行のソフトウェアでは実現は困難です。このため平成27年のシステム改正時に必要な事項について制度改正等ともに対応します。
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 改革案で上がっている課題の多くは、現在稼動するソフトウェアでは対応が困難であったり、費用が非常にかかるものとなっています。このため平成27年のシステム改正時に改革をあわせ実施します。
23年度方針	(1) 23年度予算見積りの方向性 ○ 大幅増 ○ 増 ○ 増減なし ● 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし (2) 理由 高井戸地域区民センター仮施設の平成23年4月開設に向けた費用が単年度経費となるため平成23年度は減少が見込まれますが、これまで一部、再リース品であった受け付け窓口のパソコン・プリンタが入れ替えに伴い賃借料が上がるため、平成21年度に比較すると若干の減が見込まれます。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並会館の維持管理		款	3	項	1	目	3	事業	2	整理番号	71		
担当部課名		区民生活部管理課		係名	庶務係		連絡先電話番号		3754		昨年度整理番号	70			
上位施策No・施策名										67	地域活動の推進		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	42	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		杉並区在住在勤在学者、区内事業者及び団体、その他利用を希望する者				根拠法令等	(1) 杉並区立杉並会館条例・同施行規則 (2) 杉並区行政財産使用料条例・同施行規則						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○杉並会館の適切な維持管理・運営により、区民の地域活動の場を提供する。				活動指標名(式)				(1) 利用回数(宴会室3室、集会室3室) (2) 利用人数(宴会室3室、集会室3室)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○会館施設(宴会室、集会室)を地域住民等の利用に供するため、会館施設の維持管理を行う。				成果指標				※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
				成果指標名(1)		利用人数		算定式・指標の説明等							
				成果指標名(2)		稼働率		算定式・指標の説明等		利用回数÷利用可能枠					

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	回	2,369	2,600	2,546	2,700	2,600	2,700	96.3	96.3	
	活動指標(2)	②	人	47,681	53,000	52,102	53,000	49,611	53,000	93.6	93.6	
	成果指標(1)	③	人	47,681	53,000	52,102	53,000	49,611	53,000	93.6	93.6	
	成果指標(2)	④	%	45.0	48.0	46.2	48.0	47.1	48.0	98.1	98.1	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	59,551	70,143	70,141	61,492	58,946	61,197	21年度予算執行率% 95.9		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	⑦	千円	44,100	44,079	44,078	44,534	44,239	44,239			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.80 0.00	0.80 0.00	0.78 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00	0.65 0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	7,312	7,240	7,059	7,103	7,103			5,771
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	66,863	77,383	77,200	68,595	66,049	66,968			
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	28,224	29,763	30,322	25,406	25,403	24,803			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	9,504	9,694	9,561	9,635	9,836			9,584
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0			
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	9,504	9,694	9,561	9,635	9,836	9,584			
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	57,359	67,689	67,639	58,960	56,213	57,384			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	14.2	12.5	12.4	14.0	14.9	14.3				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 71

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	建物総合管理委託	1	館	30,480
		受付案内業務委託			13,457
		機械警備委託			302
		光熱水費			14,207
		その他(小規模修繕等)			500
(2)事業実績	昭和42年開館後40年が経過しました。平成10年には結婚式場機能を廃止、展示室、多目的室等を設置しました。平成15年4月に展示室の一部をアニメ資料室に転用、平成16年4月に展示室、多目的室などを廃止し、平成17年3月にアニメーションミュージアムをオープンしました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和42年開館後40年が経過しました。平成10年には結婚式場機能を廃止、展示室、多目的室等を設置しました。平成15年4月に展示室の一部をアニメ資料室に転用、平成16年4月に展示室、多目的室などを廃止し、平成17年3月にアニメーションミュージアムをオープンしました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。			
	今後の予測	杉並会館は、筑後40年以上が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいるため、今後大規模な改修が必要になると予想されます。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由→)		左の理由または具体的内容 杉並区の公共施設の中では、宴会室機能をもった施設は他にはなく、また、集会所の需要も多いことから、区民の地域活動の拠点の一つとして、地域のコミュニティ形成に貢献しています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→) ②成果向上のための方策		今後、継続して施設を使用するためには経年劣化による設備の改修や耐震補強が必要であり、その経費が増大する見込みです。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)		施設使用料や地域団体登録使用料制度の減額措置の見直しにより、受益者負担を見直す余地があります。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)		施設維持管理を一括委託するなどを既に行っており経費削減に努めています。老朽化による設備改修費の増大が見込まれますが、古い設備を更新することによるエネルギーコストダウン、仕様変更等による委託費削減などの方法が考えられます。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	杉並会館は、区内で100名程度収容できる宴会機能をもった唯一の施設であり、年間約50,000人もの多くの方に利用されています。一方で、年間の部屋稼働率が47.1%とまだ向上させる余地があります。今後も区民ニーズの把握に努め、新たな事業展開の検討やPRの充実を図り、利用を促進していきます。なお、施設の老朽化に対しては、計画的に修繕工事の方向性を検討する必要があります。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	事業者が利用促進のために積極的に営業を行いました。区ホームページとのリンクは、様々な制約を踏まえ、22年度中に実現する予定です。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	区民の施設として、広報紙への掲載やチラシの配布など、更に区民へのPRの充実を図り、稼働率の向上をはかります。また、アンケート調査等を通じて区民のニーズの把握に努め、今後の新たな事業への検討につなげていきます。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法									
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	● 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	平成23年7月開始の地上デジタル放送開始に向けた対応ならびに平成24年9月の昇降機部品の供給停止に向けた昇降機全面改修工事費の計上が必要になります。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		地域集会施設等維持管理		款	3	項	1	目	3	事業	4	整理番号	73				
担当部課名		区民生活部地域課		係名	地域施設係		連絡先電話番号		3765		昨年度整理番号	72					
上位施策No・施策名		67 地域活動の推進		予算事業区分				既定事業									
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	54	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	1	事業コード	2	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 内部管理		施設利用者及び利用団体					
	根拠法令等	(1) 地方自治法第225条、第244条、第244条の2 (2) 杉並区立地域区民センター及び集会所条例、同施行規則															
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<p>○地域住民の活動の拠点である地域区民センターや区民集会所、区民会館において、区民の相互の交流など自主的な活動が行われるよう、施設の維持管理、運営を適切に行う。</p> <p>○区内7地域に1地域区民センター2区民集会所の設置構想に基づき、未整備地域に区民集会所を整備する。</p>															
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○地域区民センター、区民集会所及び区民会館を良好な状態で利用者に供するための維持管理業務</p> <p>○各施設内の集会室、和室及びホール等の、区民や区民団体等を対象とした貸出業務</p>																
活動指標名(式)	(1) 有料利用者数(トレーニング室を除く) (2) 施設利用回数(トレーニング室を除く)																
成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標																
成果指標名(1)	施設利用率																
算定式・指標の説明等	利用回数÷利用可能回数																
成果指標名(2)																	
算定式・指標の説明等																	
区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%						
		実績	計画	実績	計画	実績	計画										
指標	活動指標(1)	①	人	1,150,032	1,101,860	1,167,458	1,101,860	1,176,313	1,185,253	99.2	106.8						
	活動指標(2)	②	回	160,506		169,370		158,429									
	成果指標(1)	③	%	67.1		66.9		67.3									
	成果指標(2)	④															
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	791,398	863,063	811,101	831,934	776,560	833,062	21年度予算執行率%		93.3					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	⑦	千円	518,427	564,068	546,781	549,396	525,629	559,350	21年度実績から区民会館の嘱託員・再任用職員を職員数に算定した。							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	9.17 0.00	7.01 0.00	10.03 2.00	10.03 2.00	10.06 28.85	10.06 25.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	83,814	63,441	90,772	89,056	89,323	89,323							
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	5,600	5,586	80,578	69,825							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	875,212	926,504	907,473	926,576	946,461	992,210								
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	761	841	777	841	805	837								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	132,269	128,243	136,327	130,722	137,378	138,436							
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	⑮	千円	/	0	0	0	0	0							
		その他の補助金等	⑯	千円	/	33,406	33,247	33,314	26,907	33,314							
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	132,269	161,649	169,574	164,036	164,285	171,750								
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	742,943	764,855	737,899	762,540	782,176	820,460								
受益者負担比率⑬÷⑱		%	15.1	13.8	15.0	14.1	14.5	14.0									

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 73

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(2)事業実績		地域区民センター7施設維持運営業務委託 区民集会所10施設維持運営業務委託 区民会館4施設維持管理業務委託 光熱水費 その他(施設修繕・消耗品購入等)	7 10 4 21
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化 事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など) 今後の予測	平成14、15年度にかけて運営協議会による運営から、民間事業者への業務委託に変更しました。19年度には契約方式の見直しを行い、建物総合管理委託について長期継続契約を導入しました。 受託事業者職員の接客の向上や施設整備(和室の洋室化、防音設備のある室場の増)・備品の買い替えの要望がありました。また、行政使用等の先行予約により、一般使用が取りづらいという意見をいただいています。 施設や設備が年数とともに老朽化してきており、大規模修繕、計画修繕の必要性が増すものと考えられます。利用者数は微増の傾向にあり、利用種目は多様化しています。			
事業のあり方 点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 多様で自主的な地域住民活動の場として定着し、地域活動の推進を施設的な側面から支えています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	長期継続契約を導入することにより、継続的な視点にたった施設の総合管理を実現しつつも、定期的な業者選定を行うことで適正な業者を選定し、利用者満足度を高め、施設利用率の向上を目指します。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	適正な施設利用料に向けて、見直す余地があります。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)	光熱水費等省エネの一層の推進や計画的な修繕等により増大する施設コストを低減させていきます。			
	協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している (3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ) (4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	地域区民センター・区民集会所については、窓口案内業務や清掃業務をはじめとして、ほぼすべての業務について民間事業者に委託を行っていますが、受託事業者との連絡会やモニタリングの実施を通し、施設の安全管理の徹底や利用者の満足度向上を図っていきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	さざんかねっとシステムの機器リース期間満了に伴い、機器の交換やシステム改修が行われ、特定日のシステム応答遅延の解消やセキュリティの向上などの機能追加や改善が図られ施設利用の利便性が向上しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	区民会館の運営については、22年度から公募によるパートタイマーを採用しましたが、区民センター・区民集会所と同様の民間委託実施について、区民サービス、費用対効果等の観点から検討を行います。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増 ○ 増 ○ 増減なし ● 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし			(2)理由	・高井戸地域区民センターは、改修工事に伴う仮設建物での施設運営ため、委託経費が減になります。 ・西荻地域区民センター建物総合管理業務については、23年度から長期継続契約を導入するため検討を行います。			

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		区民事務所維持管理		款	3	項	1	目	3	事業	5	整理番号	74
担当部課名		区民生活部地域課		係名	地域施設係		連絡先電話番号		3765		昨年度整理番号	73	
上位施策No・施策名		67 地域活動の推進		予算事業区分				既定事業					
事業開始		平成	▼	13	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		区民事務所及び区民事務所会議室の利用者並びに利用団体		根拠法令等		(1) 杉並区行政財産使用料条例、同施行規則 (2) 杉並区民事務所会議室の目的外使用及び使用料減免取扱要綱					
事務事業の概要	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○施設利用に際して、利用者が快適な状態で施設が使用できるよう維持管理する。 ○施設を良好な状態に保ち、利用率の向上につながる事を目的とする。		活動指標名(式)		(1) 区民事務所及び会議室の建物面積 (2)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○区民事務所及び区民事務所会議室を良好な状態で利用者へ供するための維持管理業務 ○区民事務所会議室の貸出業務		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
					成果指標名(1)		施設の利用率						
						算定式・指標の説明等		利用回数÷利用可能回数					
						成果指標名(2)							
						算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)			
指標	活動指標(1)	①	m ²	7,913	7,913	7,913	7,913	7,913	7,913	7,913	100.0	100.0	
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	%	58.0	55.0	52.7	55.0	62.1	62.0	62.0	100.2	112.9	
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	53,506	68,708	55,988	68,702	61,763	59,996	21年度予算執行率%		89.9	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	28,287	33,761	29,357	34,885	32,047	32,355				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	4.47 0.00	4.18 0.00	4.26 0.00	4.26 0.00	4.61 0.00	4.61 0.00	4.61 0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	40,856	37,829	38,553	37,825	40,932	40,932			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	94,362	106,537	94,541	106,527	102,695	100,928				
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	11,925	13,464	11,948	13,462	12,978	12,755				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	20,741	17,323	19,923	17,323	20,919	17,323			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0			
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	20,741	17,323	19,923	17,323	20,919	17,323				
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	73,621	89,214	74,618	89,204	81,776	83,605				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	22.0	16.3	21.1	16.3	20.4	17.2					

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 74

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				区民事務所維持管理(区民事務所4所、分室2所、会議室18所)	24
		区民事務所運営管理(夜間パトロール委託)	12	月	5,670
		点検及び鍵回収	1301	回	1,316
		光熱水費	24	所	15,331
		その他 ()			1,537
	(2)事業実績	井草地域活動係、阿佐谷地域活動係の地域区民センターへの移転の伴い、井草会議室、阿佐谷会議室の管理方法や事務分担等について区民課と綿密な調整を行い、利用者の利便性が低下しないようにいたしました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度の組織改正により、17出張所が7区民事務所、2分室、1サービスコーナーに統廃合されました。廃止した旧出張所は目的外利用の会議室として利用することになり、15年度末までに5施設を多目的集會機能を持つ会議室へと改修を行いました。平成18年4月から高円寺会議室を区民集會所として開所しました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設に職員が常駐していないため、近隣住民からの利用マナーについての苦情や設備のトラブル発生時の即時対応ができないという指摘があります。また、手続き及び鍵の貸出場所が休館日の場合、使用料の支払いや鍵の受領手続きを事前に行う必要があり、不便であるという意見をいただいています。			
	今後の予測	施設の老朽化が進み大規模修繕及び設備修繕の増加が予想されます。利用マナーについては苦情やトラブルが起きないように使用に当たっての注意喚起を行っていきます。			
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由→)		左の理由または具体的内容		
			身近な地域集會施設としてコミュニティ活動の場として活用されています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)		①施設の老朽化により修繕費用が必要ですが、目的外施設という性格上、十分に確保されていません。		
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)		②利便性やセキュリティの向上のためには、有人管理や警備を充実させる等の対策が必要ですが、新たな経費が必要になります。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)		利便性を高めより安全に管理していくため、現在無人となっている会議室の管理について、地域区民センター・区民集會所との一体的な運営委託を検討します。		
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		適正な施設利用料に向けて、見直す余地があります。			
協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		旧出張所後施設を区民等の活動の場として、低コストで有効活用図ることができています。一方で、無人管理となっているため、快適な利用環境やセキュリティの確保という点では課題があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) ①老朽化した施設を円滑に管理していくために計画的に改修を行いました。 ②利用者や近隣住民から理解の得られる施設運用を引き続き検討しています。						
(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設面では計画的な改修を行い、満足度の高い施設を維持していきます。施設の管理について、区民センター・区民集會所との一体的な運営委託を検討します。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 老朽化していく施設や設備を維持していくには、費用負担の増加が伴います。このため、施設利用料金の適正化等の検討を行い、新たな利用者負担に対する理解を区民及び利用者に向けて求めていく必要があります。							
23年度 方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	施設の老朽化に対応しながら課題の整理を行い、現状のサービス維持を行っていきます。					

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高井戸地域区民センターの改修		款	3	項	1	目	4	事業	3	整理番号	76			
担当部課名		区民生活部地域課		係名	地域施設係		連絡先電話番号		3769		昨年度整理番号	新				
上位施策No・施策名		67 地域活動の推進		予算事業区分				投資事業 新規事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	改修: 地域住民、施設利用者								根拠法令等	(1) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例 (2)
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○平成23年度から始まる杉並清掃工場の建替工事に備え仮設熱源を設置するとともに、改修により老朽化した設備の更新、耐震補強工事、諸室の配置や機能の見直しなどを行うことにより、利用者にとって安全で使いやすい施設とする。								活動指標名(式)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○耐震診断及び基本設計(平成21年度) ○実施設計及び改修中の代替施設の確保(平成22年度) ○改修工事(平成23~24年度上半期)								成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		改修工事進捗率		算定式・指標の説明等		設計、工事、周辺整備を含む						
				成果指標名(2)				算定式・指標の説明等								
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)						
指標	活動指標(1)	①	所													
	活動指標(2)	②														
	成果指標(1)	③	%				30	30	30	100.0	100.0					
	成果指標(2)	④														
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円				15,343	10,380	48,974	21年度予算執行率%		67.7				
	(内) 投資的経費等	⑥	千円				0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	⑦	千円				15,278	10,367	40,492							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人				1.00	1.00	1.00							
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	8,879	8,879	8,879						
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	24,222	19,259	57,853							
	単位あたりコスト	⑫	円													
	財源	受益者負担分	⑬	千円				0	0	0						
		国からの補助金等	⑭	千円				0	2,018	3,437						
都からの補助金等		⑮	千円				0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円				0	0	0							
特定財源計		⑰	千円	0	0	0	0	2,018	3,437							
差引: 一般財源		⑱	千円	0	0	0	24,222	17,241	54,416							
受益者負担比率	⑲	%				0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 76

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				基本設計の作成	1
		耐震診断の実施	1	所	5,060
		地元住民、運営団体等の代表、区職員による改修連絡会の開催	4	回	13
		改修計画説明会の開催	2	回	77
		その他 ()			0
	(2)事業実績	建物の耐震診断を行うとともに、改修連絡会及び改修計画説明会を開催し、その結果を踏まえて基本設計を完了した。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	改修対象の建物は平成58年4月1日に開設され、それ以来、建物内の各施設は地域の多くの住民にとって、コミュニティ推進、福祉・健康の向上に無くてはならないものとなっています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域代表、利用者代表及び区職員で構成する改修連絡会で意見交換を行うとともに、平成21年11月には改修計画説明会を実施し、地域代表等から出された意見要望を検討のうえ、基本設計に反映させるよう努力しました。			
	今後の予測	平成24年4月に改修工事を竣工させ、代替施設敷地の現状復帰を含め、平成24年度上半期にすべての作業を終了させます。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	今後予定されている杉並清掃工場の改修工事中も、高井戸地域区民センター等の諸施設を安定して運営することができます。			
	②成果向上のための方策				
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	改修後の施設利用に当たって一定程度の利用者負担をお願いすることが今後の検討課題となっています。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[民営化・外部委託化](具体的内容→)	改修後は区民センター、高齢者活動支援センター、温水プール等の管理を一体化し、住民本位の効率的な運営を図ります。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	改修連絡会や住民説明会における地域住民や利用者団体の意見も踏まえ、利用者の視点に立った、安全性や使いやすさなどに配慮した基本設計を作成することができました。今後は、引き続き、地域住民等の意見を踏まえながら実施設計を作成し計画通りの工事に向けた準備を着実に進めるとともに、改修後の施設の運営方法や利用料のあり方について検討を行ってまいります。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 本年9月までに改修後の運営について区の家を作成し、その後、地域住民及び利用者の意見を聞きながら具体化を図ります。
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 地域住民及び利用者丁寧に説明を行い、理解を得ながら進めます。
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 改修工事予算を計上するため。